

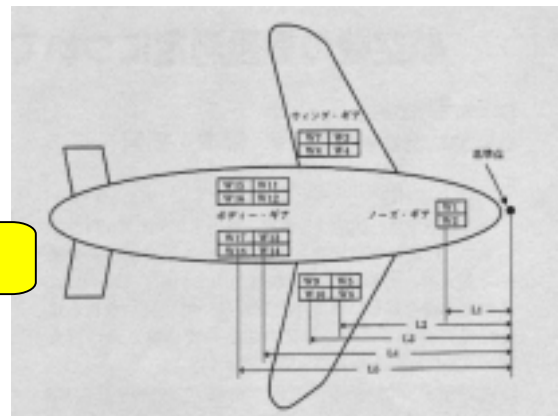
乗客の重量は計測するの？

飛行機は安全上あるいは最も経済的な飛行のために重心位置を測定することは重要な要素の一つです。重心位置により尾翼のフラップの角度を調節して飛行するのです。そのために飛行機の重量や荷物、乗客の重量を確認する必要があります。

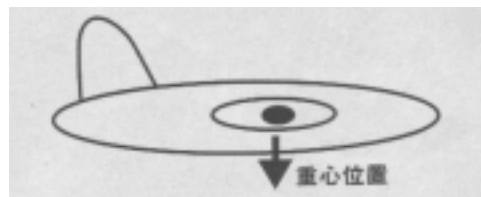
機体の重量は1回/3年、ジャンボ機の場合16車輪の下に計測板を入れて測定します。機体単体の重量は約180tで国際線で飛び立つ際は約390tにもなります。

毎回飛び立つ迄の短時間に、変動要素である荷物や乗客の重量を加味して重心を求めます。荷物は預ける際に計測されますので理解できますが、はたして乗客の重量はいつ測られたのでしょうか？

測られたという認識はないと思います。そうです、実際には測っていないのです。夏と冬、大人と子供で値は異なりますが夏のヨーロッパ線の大人の場合で一人155ポンド(約70kg)で計算します。勿論相撲の巡業等の場合はひとり一人計測するそうです。



約**180t** (747 - 400)
離陸時は約390t (国際線)
離陸速度 約320km/H



大人 **155ポンド**(約70kg)
子供 **70ポンド**(約32kg)
ヨーロッパ線(夏) ハワイ線は140ポンド

